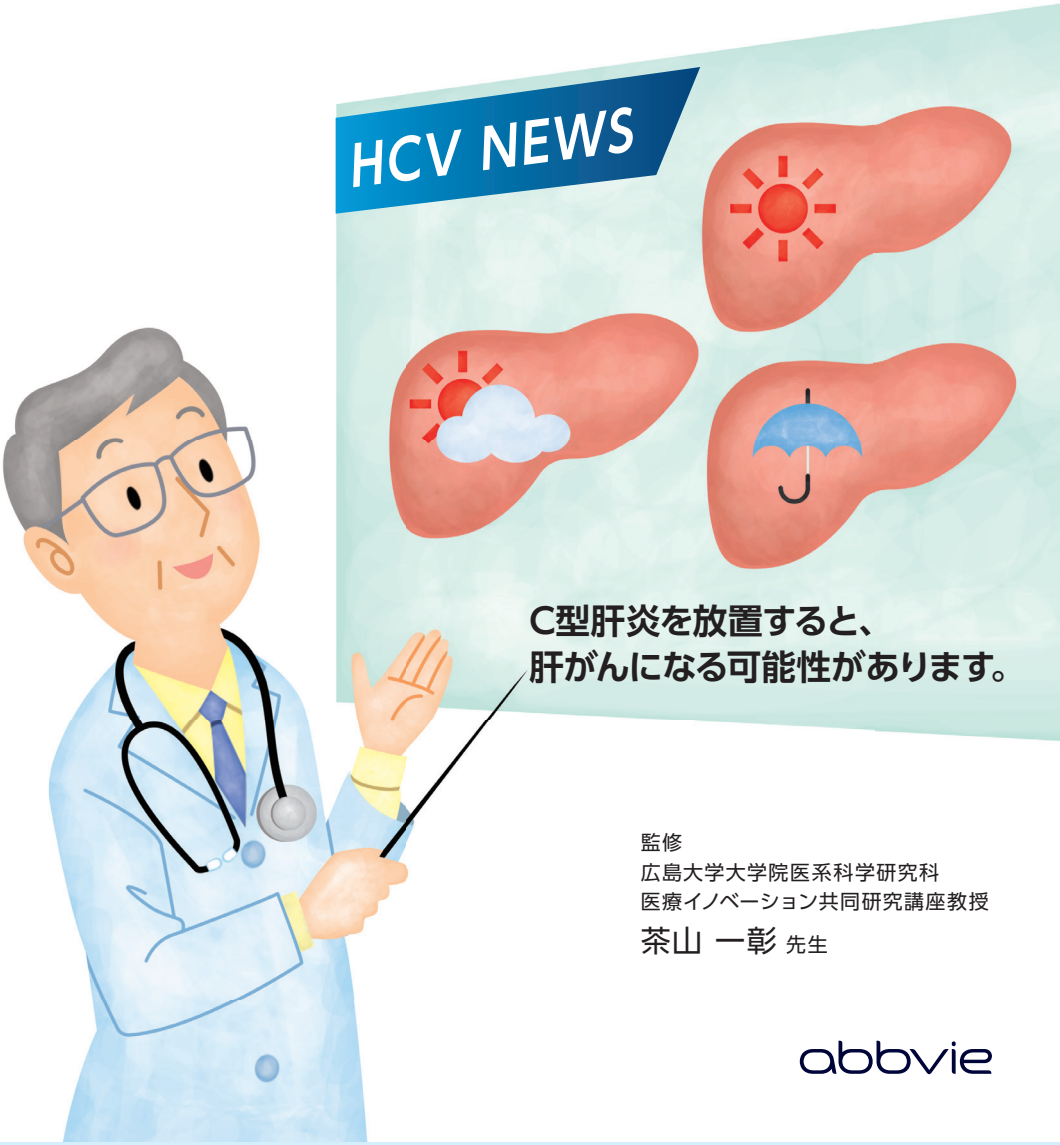
肝臓への注意報

C型肝炎は気づかないうちに進行します。



監修
広島大学大学院医系科学研究科
医療イノベーション共同研究講座教授
茶山 一彰 先生

abbvie

C型肝炎を放置すると、肝がんになる可

C型肝炎とは、C型肝炎ウイルスが肝臓に感染し炎症を起こす病気です。放置したままでいると「肝硬変(かんこうへん)」や「肝がん(かん)」へ進行する可能性があります。

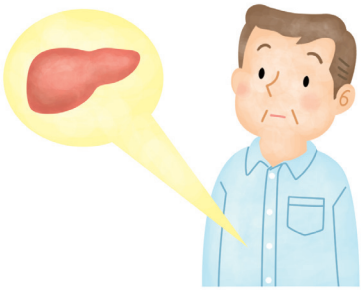
肝がんの原因の**50%**はC型肝炎です[1)]。
日本では**年間約25,000人**が肝がんで亡くなっており、
がんによる死亡数でも上位に入ります(2020年:5位)[2)]。

1)一般社団法人 日本肝臓学会, 肝がん白書 令和4年度, p6
https://www.jsh.or.jp/lib/files/medical/guidelines/jsh_guidlines/liver_cancer_2022.pdf
参照月:2023年6月
2)公益財団法人 がん研究振興財団, がんの統計2022, p15
3)一般社団法人 日本肝臓学会 肝炎診療ガイドライン作成委員会, C型肝炎治療ガイドライン(第8.2版)
2023年1月, p3-4
https://www.jsh.or.jp/lib/files/medical/guidelines/jsh_guidlines/C_v8.2.pdf
参照月:2023年6月
4)厚生労働省:人口動態統計によるがん死亡データ(1958~2021年)より作図

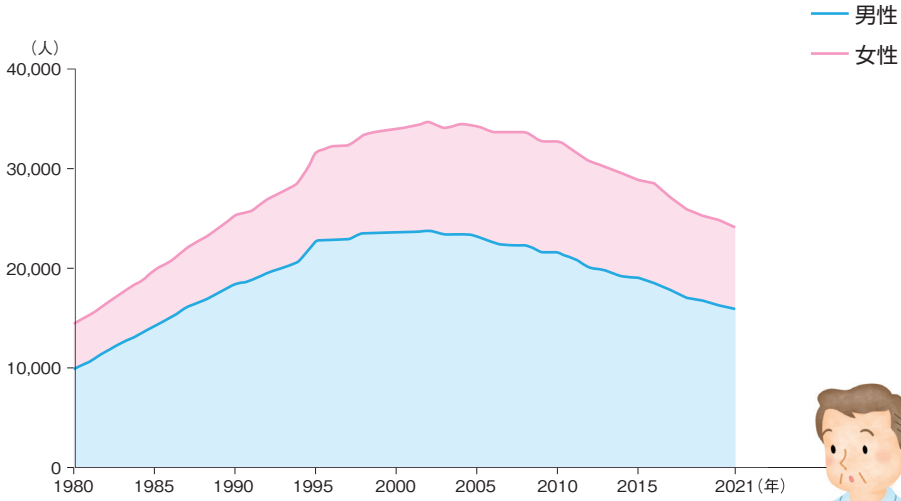
能性があります。

感染した人の約70%は慢性肝炎（まんせいかんえん）になり、自然に治ることはほとんどありません[3)]。

一般的に、慢性肝炎に進行しても自覚症状はほとんどありません。肝機能の数値が正常であっても、気づかない間にゆっくりと肝臓の線維化が進み、肝硬変や肝がんへ進行する危険性があります。
なお、肝がんの発症率は、肝臓の線維化が進むほど高くなります[3)]。



肝がんによる死亡者数の推移[4)]



治療の中心は「抗ウイルス療法」で、日々

「抗ウイルス療法」は、体内からウイルスを排除する治療です。

現在は、飲み薬だけを8週間、12週間、16週間、あるいは24週間服用してウイルスを排除する「インターフェロンを使わない治療」が中心に行われています。

HCV NEWS

抗ウイルス療法：体内からウイルスを排除する治療

飲み薬のみ	インターフェロンを使わない治療 （直接作用型抗ウイルス剤）
注射＋飲み薬	インターフェロンを中心とした治療法
注射	インターフェロン

C型肝炎は飲み薬でも治療ができるようになりました

＊C型肝炎の治療法はウイルスの種類、年齢、肝臓の状態などによって異なります。詳細は医師におたずねください。

進歩しています。

飲み薬だけの「インターフェロンを使わない治療」は、直接、C型肝炎ウイルスを攻撃することができるお薬です。

C型肝炎ウイルス検査で陽性といわれた方や、気になることがある方は、医師にご相談ください。

その他の治療：肝庇護療法、瀉血療法

抗ウイルス療法が行えない患者さんに対して行われます。

肝炎の炎症をおさえ、病気が進むスピードを遅らせます。

対症療法

薬物療法（肝庇護（ひご）療法）	肝細胞の破壊を防ぐ
瀉血（しゃけつ）療法	体内の血液を外部に排出することで症状の改善をめざす

治療には医療費の助成制度があります。

C型肝炎ウイルスの検査は、保健所や医療機関、地域や職場の健康診断で受けられます。地域によって、無料で受けられる場合もあります。

また、C型慢性肝炎・C型肝硬変の抗ウイルス療法に対して、医療費を助成する制度があります。

HCV NEWS

助成の対象は抗ウイルス療法※1

- 飲み薬のみ（インターフェロンを使わない治療）
- 注射+飲み薬
- 注射のみ

自己負担上限額（月額）※2

世帯の市町村民税（所得割）課税年額	自己負担上限額（月額）
235,000円未満	10,000円
235,000円以上	20,000円

入院時食事療法・生活療養標準負担額は別途負担

自己負担は1万円（または2万円）※2

※1：抗ウイルス療法と関係のない治療や肝庇護療法、インターフェロンの少量長期投与などの費用は対象となりません。
※2：2023年6月現在

C型肝炎の検査には2つのステップがあります。

ステップ1　抗体の有無を調べる **HCV抗体検査**

- **陰性** → **感染していない**
- **陽性** → C型肝炎ウイルスに感染すると「抗体」ができます。陽性の場合は過去に感染していたか、現在感染していることを示します。

ステップ2　ウイルスの遺伝子を調べる **HCV-RNA検査**

- **陰性** → **感染していない**
- **陽性** → ステップ1で陽性の場合、現在、C型肝炎ウイルスが血液中にいるかを調べます。

C型肝炎ウイルスに感染している可能性があります。専門の医療機関で精密検査を受けましょう。

平成24年度「肝炎ウイルス感染状況・長期経過と予後調査及び治療導入対策に関する研究」
研究代表者：田中純子（広島大学教授）「新たなC型肝炎ウイルス検査の手順について」報告書 参照

一度はC型肝炎ウイルス検査を受けましょう。

これまでC型肝炎ウイルス検査を受けたことがない方は、一度は検査を受け、感染の有無を確認してみましょう。
特に、以下の項目にひとつでも当てはまる場合は、早めに検査を受けましょう。

- 今まで一度もC型肝炎の検査を受けたことがない
- 健康診断などで肝機能異常を指摘されたが、肝炎ウイルスの検査を受けていない
- 過去に手術や出産などで輸血を受けた
- 過去に大きな手術を受けた
- 臓器移植を受けている
- 血液透析を長期にわたって受けている
- 過去に血液凝固因子製剤の投与を受けたことがある
- フィブリノゲン製剤（フィブリン糊としての使用も含む）の投与を受けたことがある
- 適切な消毒をしていない器具で、入れ墨（タトゥー）やピアスの穴をあけたことがある
- 覚せい剤や麻薬を使用したことがある

医療機関名

アッヴィ合同会社
2023年6月作成
JP-MAVI-180148-4.0

UD FONT by MORISAWA
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
abbvie